

第10回西谷地区学校づくり検討委員会
会議概要

開催日時	令和7年(2025年)7月29日(火) 15:30~17:00
開催場所	西谷小学校2階 多目的室
出席者	【委員】16名 (欠席)2名 【教育委員会事務局】7名
次第・議事	1 開会 2 会議の成立及び公開について 3 報告事項 (1) バナー等の設置、西谷小・中学校 PTCA 公式 SNS について (2) 特認校制度による転入、6月の24谷の日・オープンスクール等について (3) 西谷地区における公共交通について (4) 特認校制度令和8年度募集について (5) その他 4 閉会
会議の主な結果	・市及び学校のホームページにバナーが整備され、また西谷小・中学校PTCA公式インスタグラムが開設された。日々の教育活動の様子をたくさんの写真をとおして発信していく。 ・本年度の制度利用者3名の近況、オープンスクールの外部からの参加者の様子、移住検討者の様子を共有した。 ・阪急バスの令和9年3月撤退の通知を受け、小中学生の通学の確保を第一優先として、公共交通に空白期間を作らないよう、代替手段を求めている。 ・特認校制度令和8年度募集案内について、文言等を調整すると共に、写真の利用について検討した。9月から全学年を対象に、3か月の期間を設けて募集を開始する。
会議録(概要)	
副委員長	【1 開会】 先週からたくさんの会議があり、保護者の方はお子さんがお休みの中、そして学校も補講など様々ある中で集まってくださって感謝する。少しでも実りある会になればと思う。
事務局	【2 会議の成立及び公開について】 本会議は委員の過半数の出席により成立する。本日、委員18人中15名の委員のご出席により、会議が成立していることをご報告する。1名の遅刻連絡と、2名の欠席連絡を伺っている。今のところ、本日の傍聴希望者はおられない。
	【3 報告事項】 (1) バナー等の設置、西谷小・中学校 PTCA 公式 SNS について 前回の委員会でもっと直接的に西谷のこの特認校制度のページに早く飛べるようなバナーがあればというご意見をいただいて作成した。

副委員長	～資料1について説明～ Instagramについて報告する。教育環境整備課や小学校・中学校、PTCA 会長や執行部の皆さんにご協力いただき、地域コーディネーターの方が作成くださった。よろしければ画面でご覧いただきたい。 ～モニターで視聴～ 学校もたくさん写真を提供してくださったり、私たちも撮りに行ったりした。 資料の中にInstagramのQRコードがあるので、ぜひ登録し、見ていただけたらと思う。地域コーディネーターさんが中心になって運用してくださり、両校長に許可をいただいた写真をアップする形になっている。 やはり写真がしっかりある方が、こういう授業を日々やっているというのが伝わりやすいということで、まだまだ1学期の取組の写真があるので、ぼちぼちアップしていけたらと思う。皆さんのご協力に感謝する。
委員	学校から写真のデータをいただいて、どういう活動をしたのか聞き取りをして、その活動内容、西谷地域の補助も含めて、学校の魅力が伝わるようにインスタ運営をしている。 今、フォロワーが67になっていて、おそらく西谷の保護者の方や生徒さん、あとは議員さんとか、西谷小・中学校にゆかりのある方のフォロワーが多いが、中にはおそらく外部の方かなという方も数名いらっしゃる。 管理者側で閲覧数を確認できるのだが、オープンスクールのチラシ閲覧が今朝確認したら808あった。そのうちフォロワー以外が7割だった。他の投稿もフォロワー以外が6割ほどで、外部からも見られているのではないかなという感が数字から窺えた。
副委員長	～資料2 宝塚市立西谷小・中 PTCA 公式 SNS 運用規程について説明～ こういう内容で運営していけば、安全に運用できるであろうという内容で進めている。例えば、投稿は原則として学校長の下承を得て行うものとする、コメントへの返信は原則として行わない、などがある。 ～資料3 宝塚市立西谷小・中 PTCA 公式 SNS 利用規約について説明～ これはこちらのSNSを見ていただく方に向けて、コメント内容には気をつけて誹謗中傷するようなものは出さないでくださいねとか、そういうことをお知らせするものであり、安全に運用できるように、工夫して考えていただいた上でスタートしている。 ただ今の報告について質問やご意見などあれば忌憚なくいただきたい。
委員	市のホームページトップページのスライディングバナーには掲載期限があるのか。
事務局	申請時に期限は言われていないので設定しておらず、掲載を続ける予定である。もし期間が区切られるようであればまた報告させていただく。

副委員長	宝塚市を検索したら最初のページに出てくる形になってありがたい。
委員	掲載が長く続くようであれば、写真のさしかえ等も検討していったらと思う。 公式SNSについて、実態としてどなたが運用していくのか。PTCA 役員さんは毎年変わられるので気になった。
副委員長	運用規程の第1条をお読みする。 この規程は、宝塚市公式SNS運用方針に定めるもののほか、宝塚市立西谷小学校・西谷中学校（以下「学校」という。）、宝塚市立西谷小・中学校PTCA（以下「PTCA」という。）及びPTCAから委託された地域ボランティアコーディネーター（以下「コーディネーター」という。）が、宝塚市立西谷小・中学校PTCA公式SNS（以下「公式SNS」という。）を運用する上で必要な事項を定めるものとする とあるので、PTCA、そして学校、委託された地域ボランティアの三者が運用に関わっていく。
委員	地域ボランティアコーディネーターさんたちも、地域の方であり PTCA メンバーであり保護者の方ということもあり、PTCAはどうしても毎年メンバー変わってしまうので、PTCAが委託するという形で地域コーディネーターさんに現在の運用をお願いしている。
委員	インスタグラムの作成や運用について感謝する。なかなか学校がするとなると、ホームページやブログの更新、日々の教育活動運営があるため難しく、やっていただけるのはありがたい。 今、「西谷＝自然」を発信の第1弾としていただいているが、今後、少人数の良さ、園小中合同運動会や中学校の吹奏楽部とコラボして行う音楽会、少人数で行っている修学旅行や自然学校様子を見ていただいたりとか、2学年一緒に授業している様子を見てもらったりとか、学校の中の特色もまた取り上げていただけるようにしていきたいなど思っている。
副委員長	中身や方向性についてもぜひ皆さんに聞きながら進めたい。
委員	(2) 特認校制度による転入、6月の24谷の日・オープンスクール等について ～小学校から説明（個人情報保護の観点から非公開）～
委員	まち協の方でも、お子様のおられるご家庭の移住検討が1、2件あった。ご両親ともに大変西谷に興味を持っておられ、ただ、一番はやはり子どもさんということで、子どもさんが西谷小学校に通いたいと言えば、引っ越されたいいいのでは、と案内している。 今現在、空き家が2件出ている。この8月お盆明けにもう1件、ないし2件出る。ちなみに280万円、380万円というような金額である。もう1件はすぐに住める家だが、少し高くて780万円。皆さんの方でも少し頭に入れておいてもらって、興味の方があったら連絡いただけたらと思う。

委員	賃貸というか、お試しで住める借家みたいなものは現在あるか。
委員	西部に1件あるが、シェアハウス（ペット不可物件）という形である。今のところそこだけである。
副委員長	さきほどのオープンスクールに来てくださったご家族の話であるが、その方々はどこから情報入手されて今回ご参加されたのか。
委員	市のホームページが2件、市のチラシが2件であった。
副委員長	次に進める。事務局から説明をお願いする。
事務局	(3) 西谷地区における公共交通について 事務局から、西谷地区における公共交通について報告させていただく。 7月25日にも、西谷公共交通対策会議で説明があったと思うが、今年の5月30日に阪急バスの方から「武田尾線の路線廃止について」という文章が市に提出された。 阪急バスもやはり赤字の解消や運転手の人材確保の見通しが立たないため、やむを得ず路線を廃止する状況に至った。 現在、この路線の維持や、子どもの通学の足の確保に向けて、各事業者へのヒアリングをしながら対応策について検討している。 通学のためにバスを利用している子どもがおり、また特認校制度でもバスを利用している子どももいるため、教育委員会としても市長部局と連携しながら対応策について検討していく。動きがあれば、都度ご報告させていただく。
委員	今の報告にあったように、阪急バスが令和9年3月で撤退される。私も阪急田園バスの頃からずっと関わりを持っている中で薄々は感じていて、ついに来たかというところである。 何とか維持するためにと、市から3000万円を出してもらっている。教育委員会からもスクールバスの機能として800万円を出してもらっている。 昭和30年に西谷が宝塚市と合併する際に、当時の上佐曽利分校と切畑分校の子どもたちを本校に送るという約束が交わされた。これだけは絶対守ってほしいということをお前の公共交通対策会議と昨日の市長への要望でも伝えた。 令和9年3月と言えば、あと1年半ちょっとで、とてもタイトな中で新しい公共交通を考えていかなくてはいけない。デマンドバスになるのか、タクシーになるのか、色々な手段が挙げられるが、我々も関わりつつ、その辺を考えていきたい。 せっかく特認校制度も始まったのに、バスがなくなるのも困ると思う。南部からの子どもさんたちは、そんなに人数は多くないだろうから、タクシーで送ってもらうなどということも併せて考えていきたい。 とにかく、公共交通の空白期間を作らないということだけは約束してもらっている。

	第1に小中学生のスクールバス。 第2に高校生の通学、そして通勤（武田尾駅へ行く人、武田尾駅から西谷小・中学校や国保の診療所の方へ来ておられる方）。 第3に昼間の年配者の通院。今まち協の方で外出支援をボランティアで行っているが、それとの兼ね合いも何とかできないか。 第4が観光。ダリア園、牡丹園、自然の家、森公園など。ほぼ、自家用車のようなが、それでもやはり時期になるとバスに乗って来られる方がいる。 この4つを今から考えていかなければいけない。行政と一緒にやっていくが、また皆さんにも声掛けさせていただくので、アイデアなどあれば聞かせていただくようお願いする。
副委員長	本日初めて知った方もおられるかもしれない。少し時間をとって、ご意見、質問があればお聞かせいただきたい。
委員	先日の学校見学者に、令和8年度末でバスが…という話はしていない。私はある程度は聞いていたが、地域の皆さんも正式発表されていないことを、先にそういう人たちが知るのはよくないだろうと思ったからである。 今後、どういうふうに説明したらいいのかが、迷うところである。来年度はバスがある。でもその次は、「ただ今検討中」という言い方にするのか、それとも違った言い方になるのか。 特認校制度利用の希望については、もちろん子どもが来たいと思うことが一番だが、その次がやはり通学に関してかなと思う。なので、学校からいい加減な言い方はできないので、こういうふうに学校には説明してもらいましょうということを検討していただくようお願いしたい。
委員	今現在、ある程度はもう皆さんご存知ではあるが、本格的には公表してない。自治会連合会で、ちょっと地区によってばらつきがあるが、盆明けに公表（回覧）予定である。
委員	市役所から8月に、路線廃止について公表する原案をもらえることになっている。ただ、地域に事前に漏れてしまった。だから、自治会として何も知らないのかと言われるのは良くないので、仮段階であった路線廃止についての通知（案）を、各自治会長に渡した。それをどう扱うかは各自治会に委ねた形である。そういうわけで、現段階では周知にばらつきがある。 今言えることは、8月に入ったら廃止について正式に発表があり、今後については、検討しつつ順次発表となるということである。
委員	どうなるかということはまだ言えないが、ただ空白を作らないということだけは言える。
委員	実際のバスの乗車について、市役所の方が一日バスに乗って、乗客人数を確認されたい。6月5日と、6月中旬の2日間。すると最高で7～8人だったということである。

	それだったら、マイクロバスじゃなくても、ワンボックスカー2,3台での運用も提案できるのではと思う。
委員	1日で7~8人、じゃなくて、1便につき最高7~8人ということだった。
委員	そういうわけで、ワンボックス2,3台、朝2台・昼1台、それくらいでいけるのではないか。
委員	特認校に関することは先ほど述べたが、他にも小学校・中学校・こども園に勤めている職員の中にバス通勤者が何人かいる。 職員配置について、複式学級は言葉だけしか知らずに異動してきたら戸惑うかもしれない。だから、西谷へ異動希望を考えるなら一度見に来てほしい、そういった職員には配慮してほしいと、校長会で伝えている。やはり複式をちゃんと理解してやっていける人材に来てもらいたい。そういった時に、車に乗れる人ばかりではないので、交通の件がネックにならないようにという心配も少しあることをお知り置きいただければと思う。
委員	教員、国保の看護師さん。西谷庁舎で働いている方。何名かはバスを利用している。 バスの時間が合わず、就業時間をずらしたりもあると聞いている。大岩谷地区の児童生徒が早い時間に出てきて着いてからの待ち時間が多い、とかも。時間帯についても併せて考えていかなくてはいけないと思う。 また、現在全児童で32名ということで、全員を車で送迎できるのでは、という意見も出ていた。
委員	スクールバスが第1とのことだが、秋の行楽シーズンの時期には下校の児童生徒と観光客でバスがぎゅうぎゅうなことがある。学校前から乗車する観光客もおられる。 例えばそのスクールバスで子どもが優先だとした時に、同じ場所で待っていた観光客はどうなるのか。年配の方のケースが多いが問題はないのか等が気になった。
副委員長	小学校とか中学校から丸山湿原や牡丹園の見学に行く時や、社会見学で南部に出る時に、なかなかちょうどいい時間帯のバスがなく、市のマイクロバスを借りるのも難しい時があり、毎回苦労していた。そういう学校の特色ある授業に関しても、うまくかみ合えばいいなと思った。
委員	今年度から市のマイクロバスが廃止になり、そのため子どもの輸送のために大型タクシーを利用する予算をつけるために、年間計画を事前に尋ねられている。
委員	小中学生の子どもたちの通学のために800万円は教育委員会から出ている。あとの通学・通勤・観光客のバスを維持するための3000万円は交通政策課から出ている。差別化していった方がいいのかもしれない。教育委員会の800万円で、子どもたちのスクールバス機能、通学も校外学習等も賄えたらよいと思う。

副委員長	ダイヤが確定しない形で小回りの利く公共交通のパートナーが見つければ、その方にもビジネスチャンスになるだろうし、こちらとしても非常使い勝手が良くなる可能性も高くなるという、良い方向もあると考えてもよいか。
委員	我々が観光のことまで考えるとパンクしてしまう。観光については、各事業所というか、請負っておられる方、例えば上佐曾利のダリア園、長谷の牡丹園、自然の家、森公園。そちらはそちらで考えてもらえばいいのかなと思ったりもしている。 それには予算3000万円の分配も考える必要が出てくるが、ダリア園にしろ、牡丹園にしろ、時期的なものであり、約1週間、長くて20日ぐらいの間なので、その期間については事業所に考えていただくのもどうかと思った。
事務局	今後、色々なことを想定していくことになるのではと思う。色々なご意見をいただいたが、あらかじめこちらから期間を限定して、「この期間は大型バスを運行するのでご利用いただけます。それ以外は小型なので乗れません」と伝えておけばよいのかもしれないし、そうすると特定の時期以外はあんまり来られなくなるかもしれない。今後、色々な実証実験を重ねていこうから、その中で、良い方法を考えていきたい。
副委員長	今後、公共交通について意見が出た時などに、どこに伝えればよいか。
委員	公共交通対策会議には、PTCAからも出てもらっている。PTCA 役員、自治会長、まち協、行政では交通政策課や教育委員会に、アイデアや意見があれば伝えてもらえればと思う。 これまで年に2, 3回くらいしか、会議もなかったが、これからは2, 3ヶ月に一度くらいやっていかなくては間に合わないのではと思う。
副委員長	それでは次に進める。事務局から報告をお願いします。
事務局	(4) 特認校制度令和8年度募集について 表紙案を2つ用意している。学校・自然の風景か、子どもたちの笑顔か。 中面では左側に西谷小・中学校の特色を写真と説明文で紹介している。 右側に興味を持たれた方が学校見学に来られるよう、公開行事の日時等を記載している。11月28日が募集締め切りのため、公開行事については11月末までの行事を載せている。下の方に以前にも載せていた Q&A の抜粋や、制度利用者の声。今回、チラシ等への掲載を了承いただいた上でご意見聞かせてくださいというアンケートをとらせていただいたものを載せている。 あとは、このたび作っていただいたインスタグラムの紹介と、以前の会議で位置関係が分かるような地図をとのことだったので、「市役所から車で約35分」と入れた地図を掲載している。 裏面には募集要項を掲載している。今回は対象学年を全学年に拡大しており、令和

	8年度新小学1年生から新中学3年生まで。募集期間は9月1日から11月28日までの3ヶ月間を設けている。就学条件等は前回と変わらない。 これらについてご意見があれば頂戴したい。
副委員長	昨年度のチラシがパワーアップされて、A3両面となり、感謝する。遠慮なくご意見をいただけたらと思う。
委員	カラフルでよいと思う。公開行事11月8日の地域行事が1つ「心ふれあう市民の集い」が急遽決まった。前に来ていただいた BORO さんのコンサートもある。入るようであれば加えていただきたい。 それからもう1ヶ所、複式学級というのは複数学年というと、3～4学年一緒もあり得るように思うかもしれないなので、「隣り合う」学年としてもらった方が良いと思った。
委員	決して否定的な意見ではないが、表紙に使用している本校1年生の田植え写真。女性教員2名が柵の向こうにいるが加工は可能か。 あと、宝塚のツカ点を入れるべきだったかと思うがどうか。 それから Q&A の部分、小学校に制度利用で入った際に、中学進学について選べるもあり、そのあとに原則卒業までを見込んで就学とある。その文章の順序に意図はあるのか。 それから地図について、切畑からまっすぐ上がってくる道や長尾山トンネルのルートも記載されているとよい。 最後に学校住所について、この募集案内に限らないが、ホームページや色々な文書で「字」があったりなかったりがあるので、必要であれば統一してほしい。
事務局	中学進学についての Q&A の文章の順番に特に意図はない。 就学条件に原則卒業まで就学と謳っているが、それは、それぞれ小学校の卒業まで、中学校の卒業まで、という条件である。なので、「小学校で入ったら中学校もですか」という質問に対応することを想定した。 就学条件としては一旦小学校卒業までという条件であり、中学校を西谷に行きたいか、または自分の校区の学校に通いたいかはご自由にお選びいただけるということと、選んだ際は卒業まで続けて通ってもらうのが原則であることを伝えたい意図であった。
委員	設問のことは「西谷中学校に通うことになるの」ではなく、「通うことができるの」として、それに答える形にすれば分かりやすくなるのではないか。
副委員長	今回特認校制度を利用して入ってきてくださっている保護者さんに早速思いを聞いていただいて感謝する。利用者の声が入るだけで全然違う。実際に通っている方の生の声なので、とてもいいなと思う。「制度利用者」と書くとちょっと硬いと感じるので、「転校生保護者の声」など、少し柔らかい表現にしてはどうか。

副委員長	表紙写真についてはいかがか。青空と緑と校舎の風景写真が、南部では撮れない雰囲気であると教育環境整備課さんの方からお伺いしている。また、子どもの顔を出したらどうかという保護者の意見も聞いており、両方作成いただいた。
委員	どちらも素敵だが、私は子どもたちの顔がある方がいいと思った。この写真は中学生だけでできれば小中一緒に写っている写真の方が小学生の見学もあるのでいいのではと思った。
委員	私も子どもの写真がいいのかなと思った。後ろに学校の風景が入ればいいのでは。ただ、この写真が田植えの写真とはわからない。ただの泥んこ遊びの様子に見えるので、注釈がある方がいいと思う。
委員	表紙に「西谷小・中学校」という文言がないのではぱっと見わかりづらいかなと思う。
副委員長	「西谷地区における」という文言を「西谷小学校、中学校の」とすれば対象がはっきりする。
事務局	ご意見感謝する。写真の選定は非常に悩ましいところである。 スタートしたところなのでまず写真が少ない。今おっしゃってくださったような、中学校と小学校全部載っているような写真は今のところない。小中それぞれの写真を並べるといっても、なかなかデザイン的には難しい。 また、例えば、この写真、中学1年生でいいのかなとか、「1人休んでいるけれど」と聞いているけどいいのかなとか、もし載せて「私はちょっと半目になっていて嫌だ」と言われたらどうしようとか。写真を小さく使う分には問題なくても、大きく使うとなると色々な懸念点が出てくる。 また、表紙だと学年や子どもを全員網羅しているか、もしくはこの子はだめだからこの子だけを抜こうとかいうのに、なかなか神経質になるのではないかなと思う。今回中1の写真を使ったから、じゃあ来年は違う学年にしないで…とかになると、先々についても考えることがどんどん出てくる。そうすると苦しくなってくるように思う。 そういうこともあって、表紙は毎年使ってもいいような学校の風景写真にしておけば、中面の写真小さいところで、良い写真が撮れたらどんどん交換していくのはできそうかなとは思う。 よほどこれは表紙に使えるという写真を出していただけると可能かもしれないが、今手元にある写真で表紙を作るとなると技術的にもこれが限界である。そういったことも踏まえてぜひ一緒に考えていただき、写真について引き続きご協力をお願いしたい。
副委員長	本当によく作ってくださって感謝する。また順次、写真も見つけていきたい。 このチラシを市内のお子さんすべてに見ていただくためのご予算も確保していただいているのか。

事務局	カラー印刷したものを全児童生徒に配布する予算はなく、データ配信である。データではカラフルなものをお届けでき、写真を拡大して見るなども可能である。 設置用の数十部であればカラー印刷も可能である。 昨年同様、新小1全員には一色刷のカラー紙印刷になると思う。
事務局	表紙写真下の文言も2パターン用意している。特にご意見はないか。 ないようであれば、事務局で判断させていただく。
副委員長	(5)その他 皆さんの方から何かその他の議題はあるか。なければ閉会させていただく。 たくさん意見が出たことを感謝する。
事務局	本日の議論・ご意見を感謝する。 今回の検討委員会は、募集の結果のご報告ができる12月に予定している。ただ、それまでに何か検討すべき事項とかが出てくれば招集をかけさせていただくので、その際にご協力をお願いします。日程調整の方についてはまた電子メールで調整させていただくので回答をよろしくお願いします。本日はありがとうございました。
事務局	特認校制度が決してゴールではない。認定こども園から中学校までの幅広い中で、教育という視点で今後何ができるのか、教育委員会として検討し、またここで皆様にお伝えし、新たな議論ができるよう持っていきたい。西谷でなければできないこと、西谷でやりたいこと、いろいろと子どもたちにはあろうかと思うので、そうした声にも、きちんと耳を傾けながら、教育委員会としてこの西谷でやるべきこと、できることというのを探していきたい。また皆様にもご相談しながら進めていきたいと思うのでよろしくお願いします。今日は本当にありがとうございました。